

～自然豊かな信州は、クマが生息しています～

クマと出会わない！クマを誘引しない！

1 観光客の皆さんは

【クマと出会わないためには】

- ・クマに人の存在を知らせましょう。
ラジオや鈴など音の出るものを鳴らしながら行動しましょう
- ・野生動物の気配や鳴き声が出たときは**不用意に近づかない**。
- ・明け方、夕暮れ時、夜間はゴミ捨て場などに近づかない。
- ・山道はなるべく**複数で行動**しましょう。
人の声はクマに人の存在を知らせ、効果的です。
- ・ただし、**沢沿いなど自然の音で人の存在がクマに伝わらないこともあります。**



【クマを近づけさせない】

- ・山道やキャンプ場では**ごみを持ち帰り**ましょう
バーベキューなどの残飯は、野生動物の格好のえさになります。
- ・リュックなどに食べ物を入れたままその場を離れると
クマが近づいてくることがあります。
- ・クマが置いてあるリュック等に近づいたときは**取り返そうとしない**。
- ・野生動物には**餌をあげない**。人の近くに餌があることを覚えさせない

2 施設の管理者の方は

【クマを誘引しない】

- ・施設から出た**ごみは野外に放置しない**。
クマが入れない建物内に保管する。
- ・野外のごみ捨て場には、クマが通っている場合があります。
明け方、夕暮れ、**夜間は不用意に近づかない**。
- ・ごみ箱を撤去しごみの持ち帰りを勧めましょう。
- ・施設付近や建物にハチの巣があるときは、**速やかに除去**します。
- ・漬物や発酵食品、時には塗料、オイルなどの匂いにクマが誘引されます。
クマの痕跡があるときは、保管場所を変えるか、建物の周りを**電気柵で囲み**ましょう。

【クマに対する安全確保】

- ・周辺でのクマの出没情報は、お客様に確実に伝え、注意喚起を
- ・クマが出没したときは、お客様の安全確保、直ちに警察に連絡を
- ・対策に迷うときは、市町村や県の被害対策チームに相談を



長野県森林づくり推進課
鳥獣対策・ジビエ振興室
電話 026 - 232 - 0111 (代表) (内線 3264)
メール choju@pref.nagano.lg.jp